

Library NEWS

～図書館だより～



令和2年度 晃陽中学校図書館

もうすぐ夏休み。今年は短い夏休みですが、2週間もあります。
好きなだけ本を読むことができますね。充実した夏休みを過ごしましょう。



第66回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

青少年読書感想文全国コンクール

主催/公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援/内閣府・文部科学省 協賛/サントリーホールディングス株式会社



課題図書が
入りました。
借りられます。

裏面に解説があります。

夏休みは5冊借りられます

夏休みの特別貸出を実施しています。
今まで借りたことのないジャンルに挑戦するチャンス！
色々な本を借りてみましょう。
5冊借りられます。
作文・自由研究の参考になる本など、たくさん本をそろえています。本を借りましょう。

新しい本が入りました





課題図書



2020.7



「天使のにもつ」 itou miku 著 童心社 223p

職場体験学習で保育園へ行くことになった主人公の風汰。初めは、あまりやる気がおきなくて、長い前髪を担当の先生に注意されたが、おでこにチョンマゲのように結び、逆にそれが園児に覚えられるきっかけに。チャラい印象もあり心配だったが、学ぶことが多い。風汰は理解が早かった。保育園の先生の要望をちゃんとこなすことができていたし、園児からも慕われていた。介護問題、育児放棄の問題、ペットを飼うこと、命の問題などテーマがたくさんあり、感想が書きやすい。成長していく物語は読んでいて楽しい。感動本。



「11番目の取引」 アリッサ ホリングスワース著 鈴木出版 349p

主人公は12歳の少年サミ。おじいさんは民族楽器ルバーブのプロの演奏家。大切な楽器をおじいさんがトイレに行っている間に盗まれた。僕の責任だ。なんとインターネットの取引アプリeBay（イーベイ）に出品されていた。700ドルは日本円でだいたい7万5千円くらい。高い。自分の責任なので、何とかしてお金を集めて取り返したい。わらしべ長者のように自分の出せる物と交換（取引）して（物から物、物からお金）色々交換して目標額に近づいていく過程が楽しい。過酷な状態もあった。友情に助けられることも。アフガニスタンのことやイスラムのこと、難民のこと、文化の違いなど、ニュースで見たり聞いたりしているけど、よく知ることができる。



「平和のバトン」弓狩 匡純 著 くもん出版 319p

絵のうまい高校生と、原爆を体験した人がタッグを組み、絵を描く企画。当時はあまり記録に残すことができていない。原爆の写真はアメリカ人が撮った数枚しか知られていない。広島の高校の創造表現コースの生徒が証言者とたくさん話し合い、協力し合って完成させた。等身大の被爆者と出会い、寄り添えたことで、多くを学べた良い企画。次世代と描く原爆の絵は、過去と未来をつなぐ平和のバトン。絵をぜひ見てほしい。泣ける。

予約できます。